

児童生徒の学校内外での安全を確保するため、学校、家庭、地域や関係機関が連携し、交通安全や防犯、防災等の安全確保に係る教育を進めます。また、児童生徒が安全に通学できるよう通学路の安全点検やスクールバス等による児童生徒の安全な通学に努めます。

学校施設・設備の充実については、児童生徒が安全・安心な施設環境で快適に学ぶことができる学校づくりを推進するため、計画的な改修・修繕を進めます。教職員は児童生徒への教育、指導はもとより、本町が目指す教育の姿の実現に向けた取組を担う立場でもあることから、教育研究所をはじめ、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等と連携しながら、一人ひとりの資質・能力の向上、服務規律の遵守や危機管理・感染症対策への対応などに取り組みます。



## 地域社会全体で学びを支える体制づくり

学校と家庭、地域が課題や目標を共有し、地域とともにある学校づくりを目指すコミュニケーション・スクールの活動を引き続き展開し、地域学校協働本部が学校と地域をつなぐことにより、本町の自然環境や人材、まちづくりの取組など豊富な教育資源を活用し、個性豊かで小平町を愛し、小平町に誇りを持つ子どもを育て教育の充実に取り組みます。

幼小中連携教育の推進については、「学びのつなぎ」や「連続した支援」へとつなげるため、幼稚園から小学校・中学校までの12年間を系統的・継続的に指導する方法により幼小中連携を推進します。



## 小平らしい生涯学習の実現

今年で4年目となる「第7次社会教育中期計画」の基本目標「育てよう！学び喜び・チャレンジ精神☆広げよう！出会いの輪」のもと、社会の急激な変化に対応し、持続可能な地域づくりを実現できるように、町の将来を担う人材の育成や学びを通じた住民相互のつながりの強化・拡大に主眼を置き、各種事業の取り組みを鋭意推進します。

地域全体で子育てを支える体制づくりに向け、「子育てサポーター」や「子育てサークル」など、町内の子育て支援関係者の活動を支援します。

子どもたちの豊かな学びを支えるため、地域と学校がしっかりと連携・協働する体制を構築する必要があることから、地域学校協働本部の活動を推進します。

まちの未来を担う「志」をもった若者を育てるため、リーダーシップやチャレンジ精神を育てる取り組みを推進するとともに、若者同士のつながりや地域との関わり合いを深める「おびら未来塾」の実施を推進します。

知られざる地域の魅力について学び、地域資源の新たな活用を図るきっかけをつくることにも、ふるさとに対する愛着と誇りを育むため、「おびらふるさと塾」を今年度も継続して実施します。

また、町のシンボルである「旧花田家番屋」については、令和7年度より計画している「保存修理・耐震補強工事」の実施に向け、本年度は基本設計を行います。

図書環境の整備・推進については、町

民の読書ニーズと学習意欲に対応した関係図書の充実や図書情報の提供を図るほか、図書室の良好な環境整備と交流の場としての活用に努めます。

町民がより読書に親しめる新たな取り組みを検討し、幼児や児童生徒はもちろんのこと、町民が生涯にわたり読書活動を行えるよう支援します。

また、令和4年度よりスタートした5カ年計画の「第3次小平町子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの読書活動を推進します。

文化活動については、人口減少や文化団体の高齢化が進む中、文化活動のすそ野を広げるため、広報等を通じて新たな担い手づくりや団体の設立を支援します。

優れた芸術文化に触れる機会を提供するため、サポーターズクラブとの連携により生の芸術に触れる機会や、町内の各種文化に触れる機会の提供に努めます。

人生100年時代において「健康」を最も価値あるものの一つと捉え、子どもから大人まで年齢や障がいの有無に関係なくスポーツ活動を楽しめる環境を整備し支援します。

町スポーツ協会や各スポーツ団体においては、会員の高齢化や会員数の減少が共通の課題となつていますが、スポーツ大会の開催などを通じて、各団体の活動促進に努めます。

本町は、管内では唯一海洋スポーツ体験施設を有しており、夏の体験型スポーツとして、町内外の子ども達等の研修授業としても活用されていることから、今後も広くPR活動を図り、関係各所との連携のもと利用の拡大に努めます。

町内外より多くの方に利用いただいで

いるボルダリング施設は、毎年ホールの位置を変えるなど利用者に飽きがこないよう管理運営に努めます。

スキーは主要な冬のアウトドアスポーツであり、地域住民の健康増進、子ども達の野外教育活動の場として貴重な存在であることから、安心安全にスキーが楽しめるよう、スキー場の管理運営に努めます。

主な施策内容	予算額
教育施設整備事業	7,070千円
文化施設・スポーツ施設整備事業	37,429千円



## おわりに

令和5年度においても、教育委員会運営の一層の充実を図りながら、教育を取り巻く諸課題に積極的に対処していく所存であります。

町民の皆様への教育行政へのご理解とご支援をお願い申し上げます。